



NPO法人 大谷石研究会



大谷石の魅力为全国のみなさんへお伝えする大谷石研究会の広報誌

# 「見世蔵小日野屋商店」 調査と提案についての報告

NPO法人大谷石研究会 理事長 佐藤公紀

昨年10月より開始された「見世蔵小日野屋商店」の調査と提案プロジェクトもようやく一段落が着々と近づいています。これまでこの経緯について報告したいと思っております。

調査の対象となった「見世蔵小日野屋商店」は宇都宮市徳次郎町中町の日光街道に面した場所にあります。調査の目的は敷地の部及び見世蔵部分が日光街道拡幅の対象となり解体の可能性が予想されたため、道路拡幅工事の前に「見世蔵小日野屋商店」の文化的価値の再確認と実測による図面と写真による現況保存を行うこと、道路拡幅後の再活用について

考えてみるのが目的でした。実測調査は大谷石研究会のメンバーと宇都宮大学及び小山高専それに千葉大学、作新大学の学生の皆さんが加わり昨年10月6日に行いました。その後補助調査を行い、会員でもある鈴木康彦さんによる写真撮影を行い、再活用の提案作成ワークショップを今年8月25日・26日の2日間で行いました。宇都宮大学遠藤研究室及び小山高専安高研究室、小林研究室の学生十人大谷石研究会メンバーによる総勢20名で、徳次郎町の公民館を会場に、郷土史家の池田貞夫さんにこの地域の歴史について学ぶところから提案づくりは始まりました。宿

泊先である会員の池田光さんが経営する「たのおみ温泉」の食堂や和室を会場に学生の皆さんは寝ずに提案づくりを続け、2日目の午後公民館において各案の発表と講評が行われました。会員からの鋭い指摘や温かい励ましの言葉が飛び交いながら発表と講評の会でした。その後10月30日に宇都宮大学において修正案についての最後の講評が行われ、11月23日に栃木県立博物館で行われる博物館友の会主催の大谷石研究会による連続講座で、小林先生十学生の皆さんによる報告会が行われました。今後も調査だけでなく、提案を含めた活動を行いたいと考えています。



小日野屋商店正面



小日野屋商店上空から



昨年10月6日に行った実測調査のメンバー



8月25日ワークショップでの池田貞夫さんの講演



小日野屋商店ワークショップ



ワークショップ



ワークショップ